

## 山都町と矢部高校との協定を締結

当署では、昨年6月に山都町との間で、「ゴイシツバメシジミの保護・増殖に係る連携と協力に関する協定」を締結しており、現在、協定に基づき山都町がゴイシツバメシジミの餌となるシンランの生息環境の基礎データ収集のために、国有林内に日照度と温湿度のデータロガーの機材を設置してデータの収集を行うとともに、当署から提供したシンランの挿し穂により株の増殖を行っています。

このような中、地元の熊本県立矢部高等学校が学校教育活動の一環として、学校内の施設を活用してシンラン株の増殖に参画することとなったことから、全国でも珍しい「ゴイシツバメシジミの保護に必要なシンランの育成等に係る連携と協力に関する協定」を山都町、矢部高校及び当署の間で締結しました。

この協定により、三者が協力してゴイシツバメシジミの保護・増殖に不可欠なシンランの育成を円滑に進めるとともに、学校教育における普及啓発と森林・林業を支える人材の育成についても連携・協力することとなりました。

協定書の締結式は12月21日に山都町役場会議室で開催され、上田浩山都町生涯学習課長から協定に係る概要説明がなされ、続いて梅田稷山都町長、坂本憲昭矢部高校長と川畑充郎熊本森林管理署長が協定書にそれぞれ署名を行いました。また、川畑署長からは、「ゴイシツバメシジミの保護・増殖とシンランの育成はもちろんのこと、森林・林業を支える人材の育成にも貢献できるように、当署としても積極的に取り組んでいきます」との挨拶がありました。

今回の協定締結を契機として、当署としては引き続き山都町、矢部高校の要望等を聞きながら、これまで以上に連携・協力して地域貢献が出来るように取り組む考えです。



(協定締結した坂本校長、梅田町長と川畑署長)